

平成31年4月

|                |            |            |           |
|----------------|------------|------------|-----------|
| 平成31年<br>平成31年 | 1月～<br>4月～ | 3月期<br>6月期 | 実績<br>見通し |
|----------------|------------|------------|-----------|

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 主要景況項目の動き                   | 2  |
| 業況天気図                       | 3  |
| 全産業の推移                      | 4  |
| 製造業の推移                      | 7  |
| 建設業の推移                      | 11 |
| 小売業の推移                      | 15 |
| サービス業の推移                    | 19 |
| 全産業の過去データの推移<br>* 平成15年1月以降 | 23 |
| [集計資料]                      |    |

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

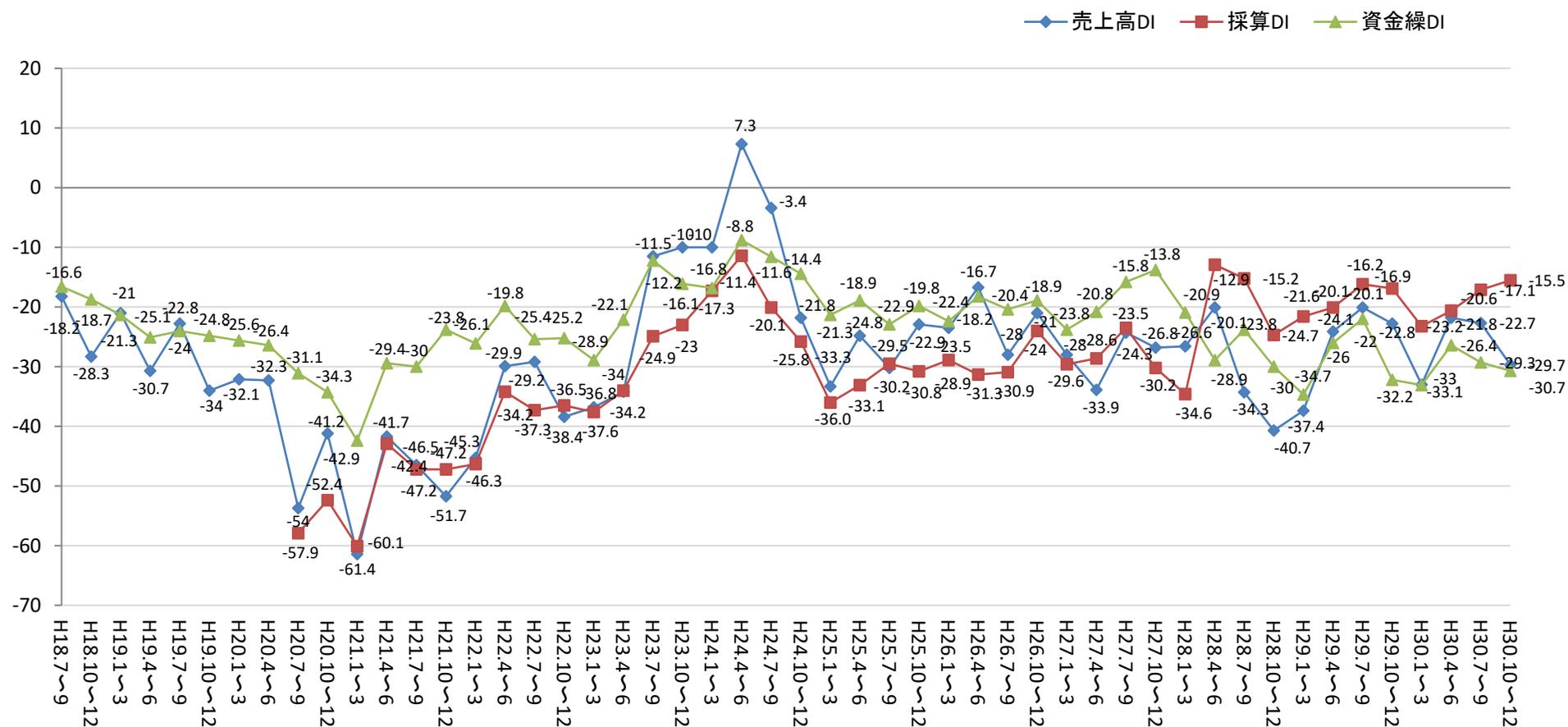
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

| 業 種 \ 期 間 | 平成29年   |   |   | 平成30年  |   |   | 平成31年   |   |   | (見通し)<br>4~6月 |
|-----------|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---------------|
|           | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月  | 1~3月   | 4~6月  | 7~9月  | 10~12月  | 1~3月  |   |               |
| 製 造 業     | <br>曇  | <br>曇  | <br>薄曇 | <br>曇  | <br>薄曇 | <br>曇  | <br>曇  | <br>曇  | <br>薄曇 |               |
| 建 設 業     | <br>曇  | <br>薄曇 | <br>曇  | <br>雨  | <br>雨  | <br>曇  | <br>雨  | <br>曇  | <br>雨  |               |
| 小 売 業     | <br>雨  | <br>雨  | <br>雨  | <br>雨  | <br>雨  | <br>曇  | <br>雨  | <br>雨  | <br>雨  |               |
| サ ー ビ ス 業 | <br>曇 | <br>曇 | <br>曇 | <br>雨 | <br>曇 | <br>曇 | <br>曇 | <br>雨 | <br>雨 |               |

| 売上高DI | 100.0<br>~30.1   | 30.0<br>~10.1  | 10.0<br>~△10.0  | △10.1<br>~△30.0  | △30.1<br>~△100.0   |
|-------|--|--|---|--|--|
| 表 示   | <br>快晴 | <br>晴 | <br>薄曇 | <br>曇 | <br>雨 |

# 全産業の推移

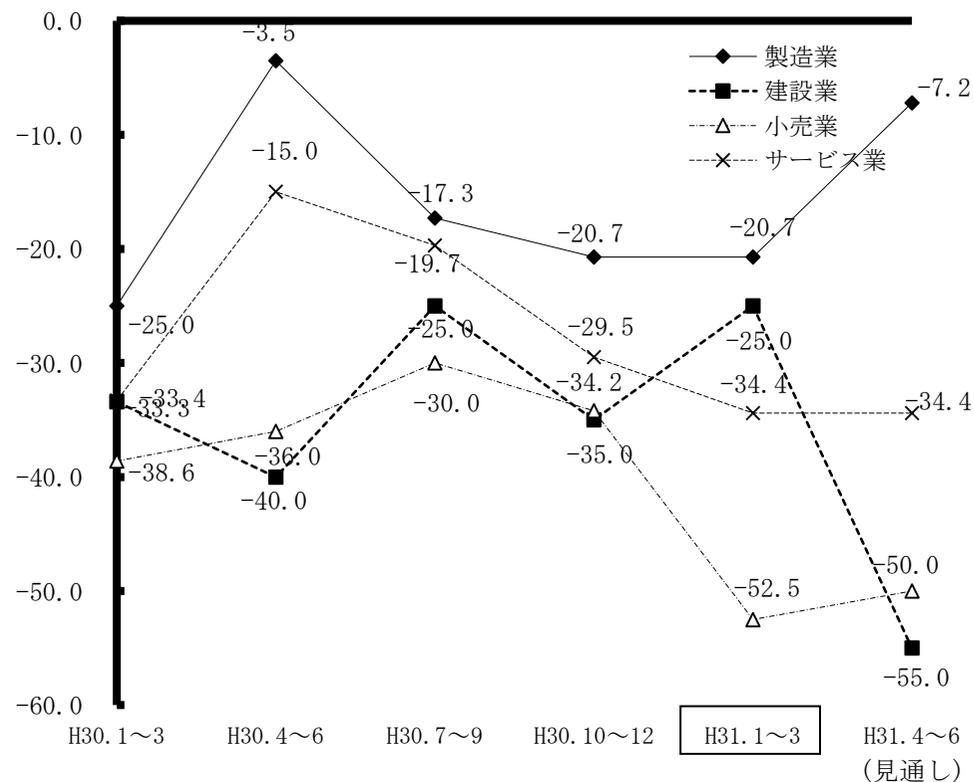
## 売上高

**建設業が改善、製造業は横ばい**  
**サービス業が悪化、小売業は大幅に悪化**

今期は、製造業が横ばいの $\Delta 20.7$ 、建設業は $10.0$ ポイント増加し、 $\Delta 25.0$ まで改善しました。サービス業は3期連続の悪化となり、 $4.9$ ポイント減少して $\Delta 34.4$ まで悪化しました。また、小売業は $18.3$ ポイントの大幅な減少となり、 $\Delta 52.5$ までマイナス幅を拡大しました。小売業は、直近4期の比較で最も悪化しています。

来期は、製造業で大幅な改善が予想されますが、今期上昇した建設業では一転して大幅な悪化が予想されています。

サービス業は横ばい、今期大幅に低下した小売業は小幅ながら改善が見込まれています。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

## 採算

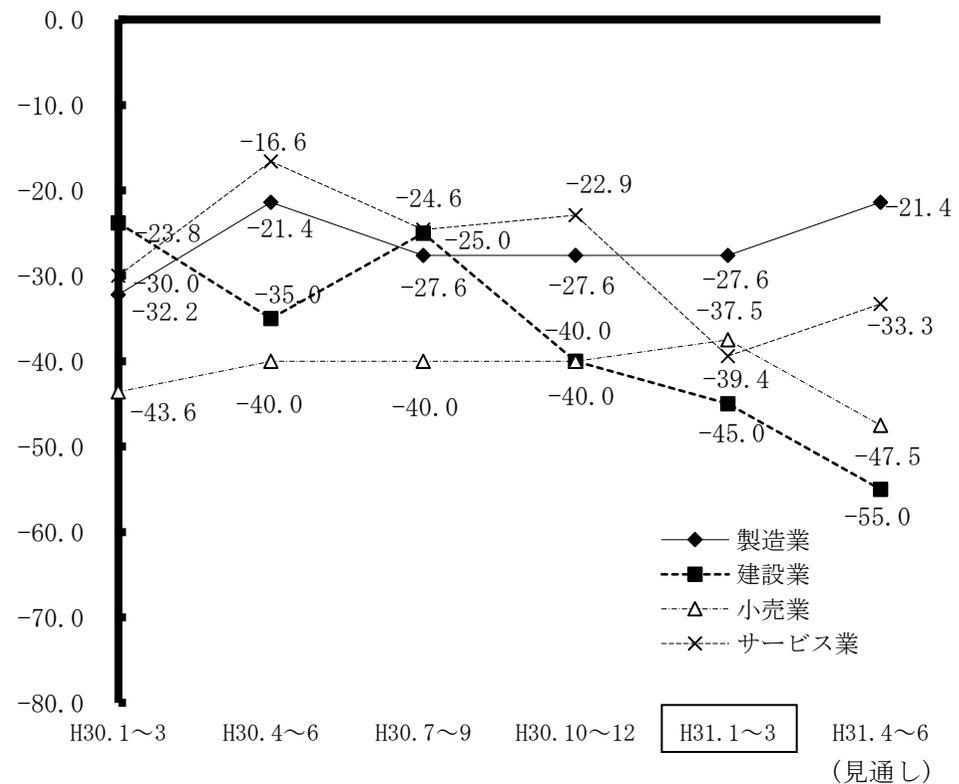
**製造業が横ばい、小売業が小幅に改善  
サービス業、建設業が悪化**

今期は、製造業が横ばいの△27.6、小売業が2.5ポイントと小幅に増加し、△37.5まで改善しました。

サービス業は16.5ポイントの大幅な減少となり、△39.4まで悪化しています。また、建設業は、5.0ポイント減少して2期連続の低下となり△45.0まで悪化しています

来期は、製造業、サービス業においては、改善することが予想されているものの、小売業、建設業においては悪化が見込まれています。

※採算は各業種とも経常利益



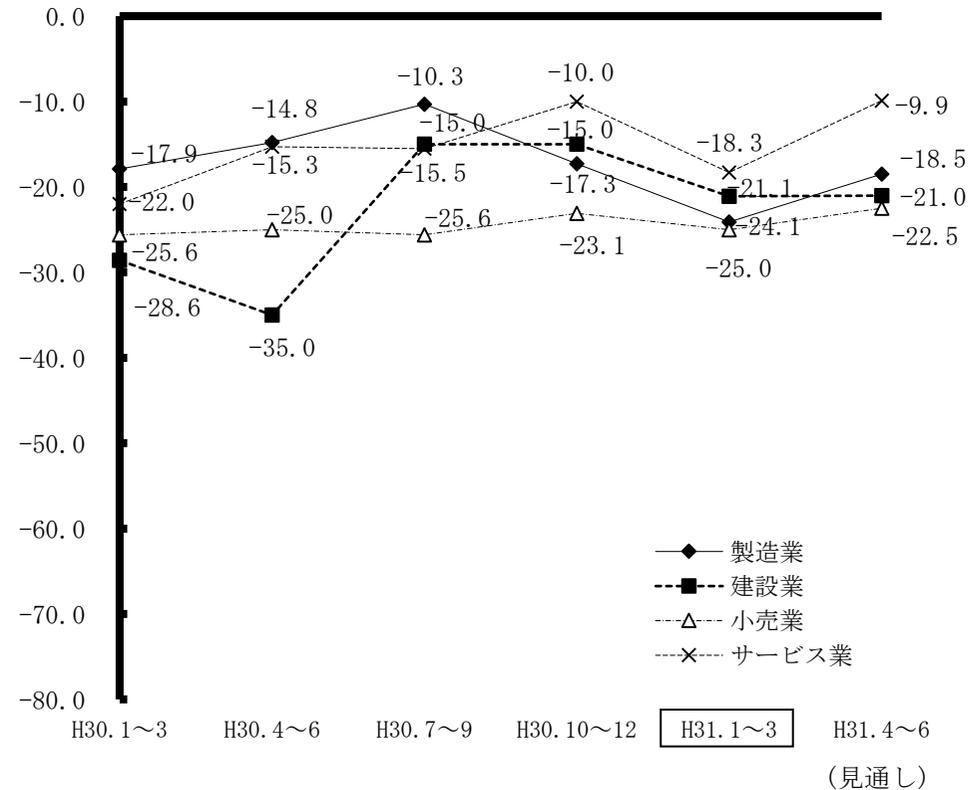
# 全産業の推移

## 資金繰り

### 資金繰りD-IIは全業種で悪化

今期は、サービス業が8.3ポイント減少して△18.3まで悪化、建設業が6.1ポイント減少して△21.1まで悪化しました。製造業においては、6.8ポイント減少して2期連続の低下となり△24.1まで悪化、小売業は1.9ポイント減少して△25.0まで悪化しています。

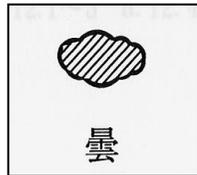
来期は、建設業が横ばいにとどまるものの、サービス業、製造業、小売業において改善が予想されています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

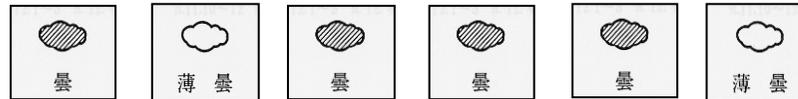
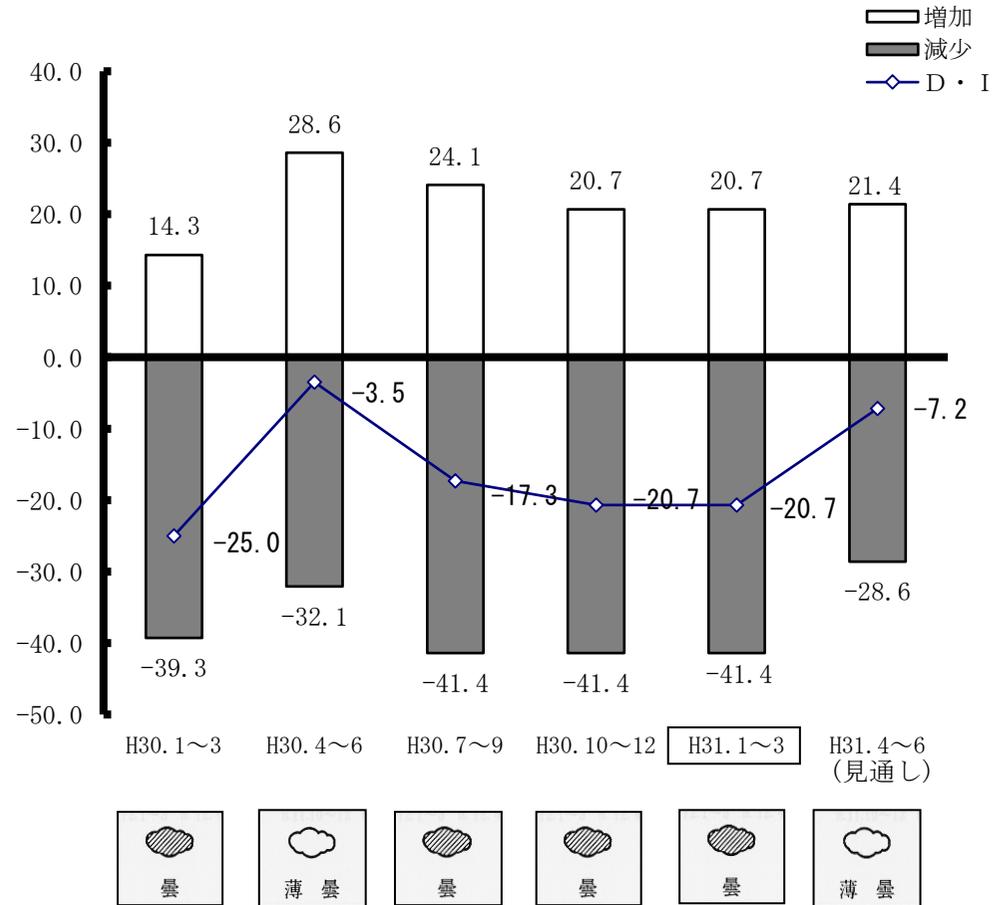


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業、売上高減少企業の割合に変化はなく、売上高D・Iは前期と横ばいとなりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が小幅な増加にとどまるものの、売上高の減少を予想する企業割合の大幅な減少が見込まれ、売上高D・Iは大幅に改善すると予想されます。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

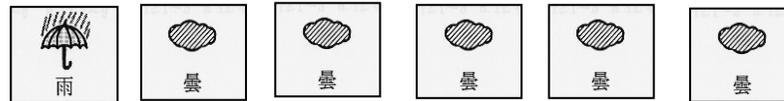
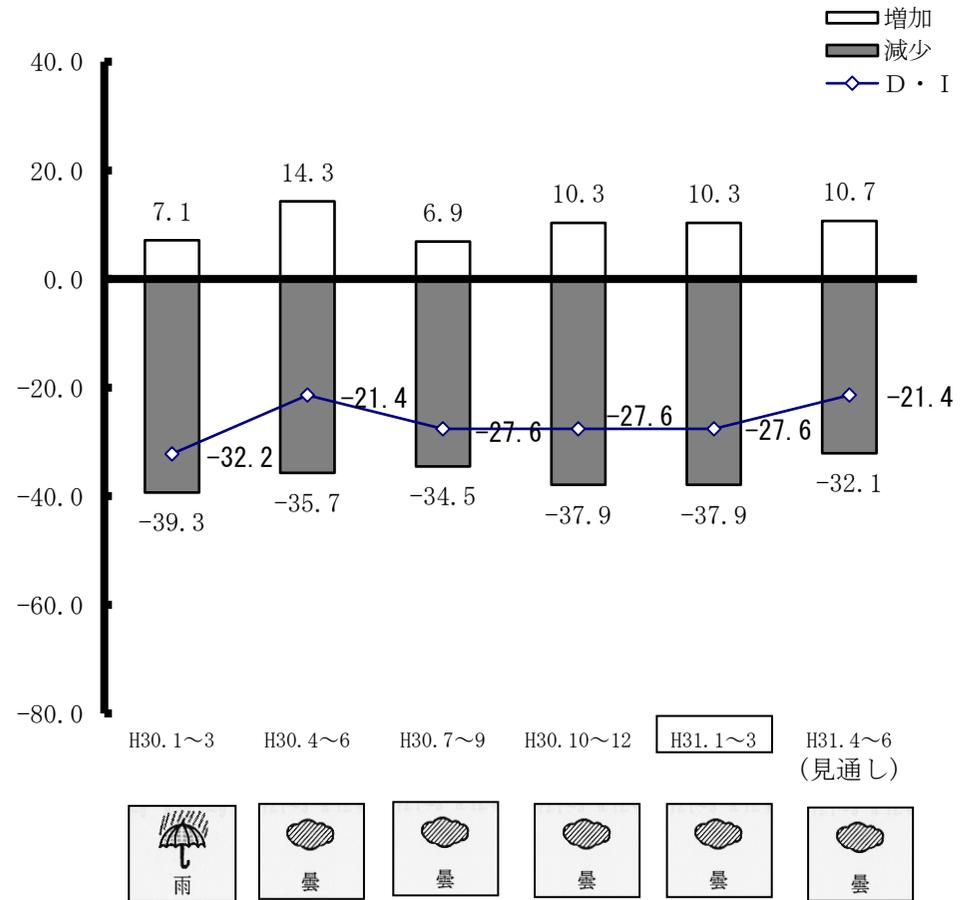


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合、採算が悪化した企業の割合に変化がなく、採算D・Iは△27.6にとどまりました。

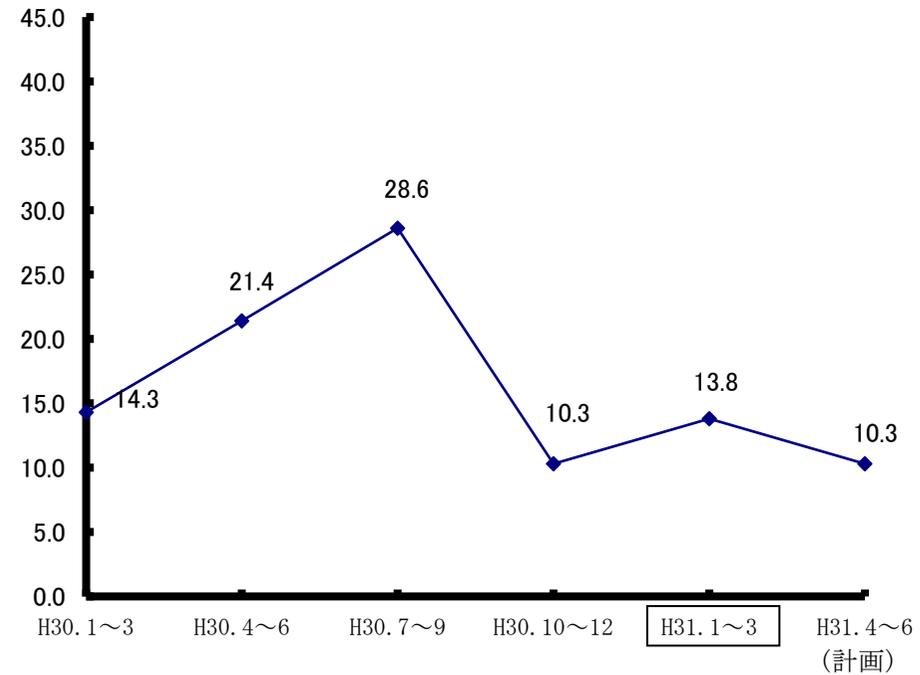
来期は、採算の改善を予想する企業は、ほぼ横ばいとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少すると見込まれることから、採算D・Iは好転する見通しです。



## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は増加に転じ、13.8まで上昇しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は、再び減少する見通しです。

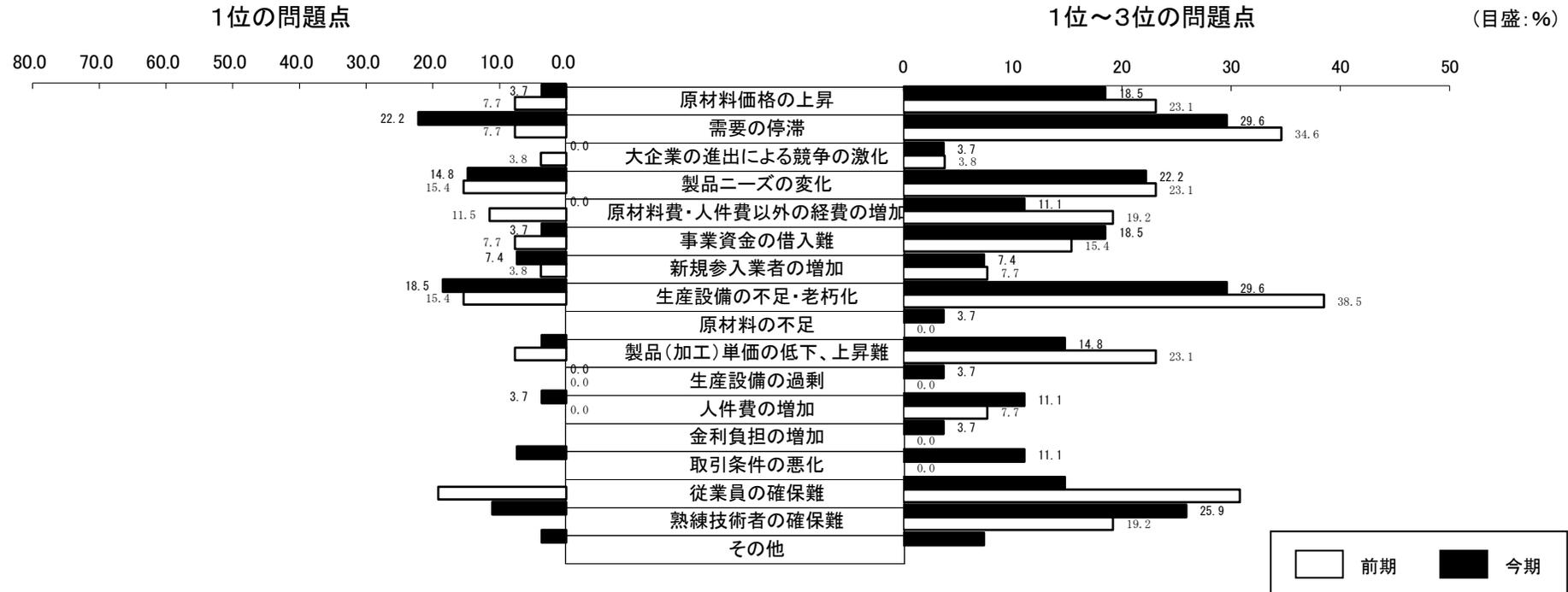


(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

## 経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

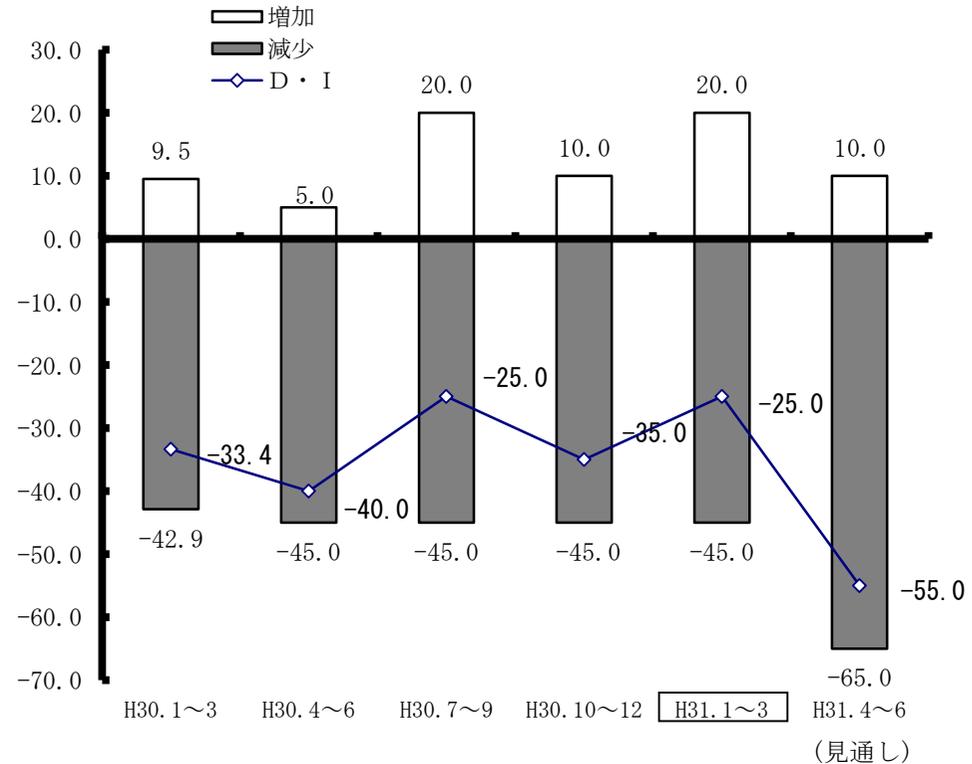


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が増加し、売上高が減少した企業割合が横ばいであったことから、売上高 D・I は上昇してマイナス幅が縮小し、△25.0まで改善しました。景況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が大幅に増加すると見込まれることから、売上高D・Iは大幅に悪化する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

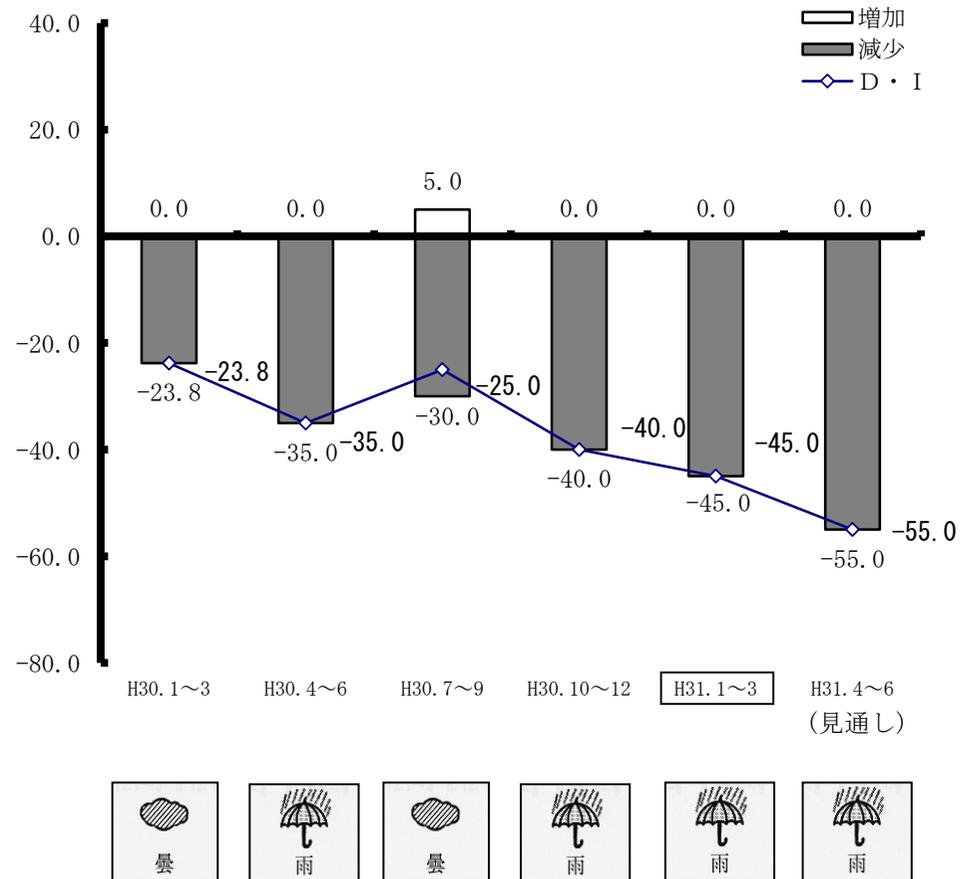


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が前期と変わらず0.0となり、採算が悪化した企業の割合が5.0ポイント増加したため、採算D・Iは5.0ポイント減少し、△45.0まで悪化しました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合は0.0にとどまり、採算の悪化を予想する企業が増加となることから、採算D・Iは連続して悪化し、マイナス幅が拡大する見通しです。



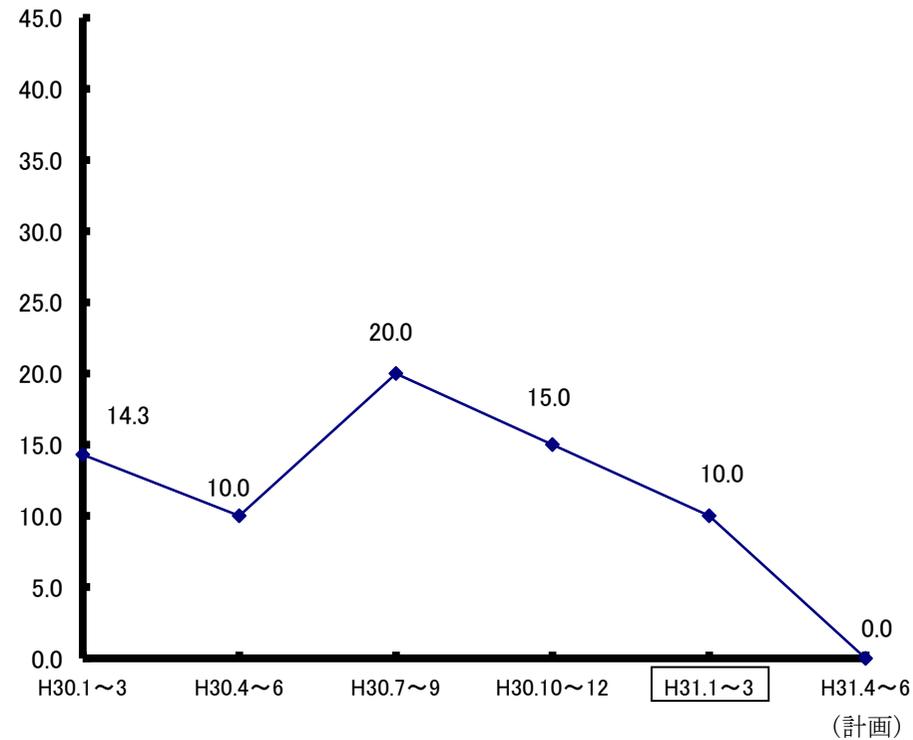
# 建設業の推移

## 設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は5.0ポイント減少して10.0まで低下し、2期連続の低下となりました。

来期も、設備投資を予定する企業数の割合は引き続き減少することが見込まれ、0.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

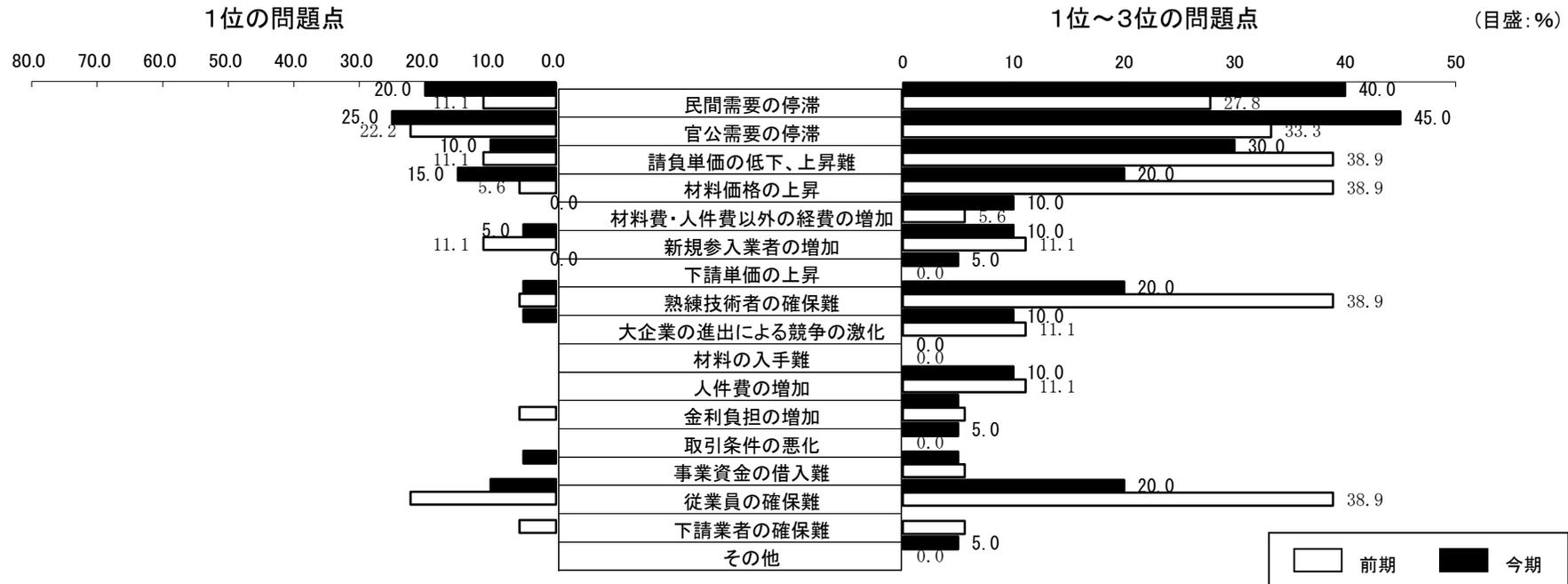


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

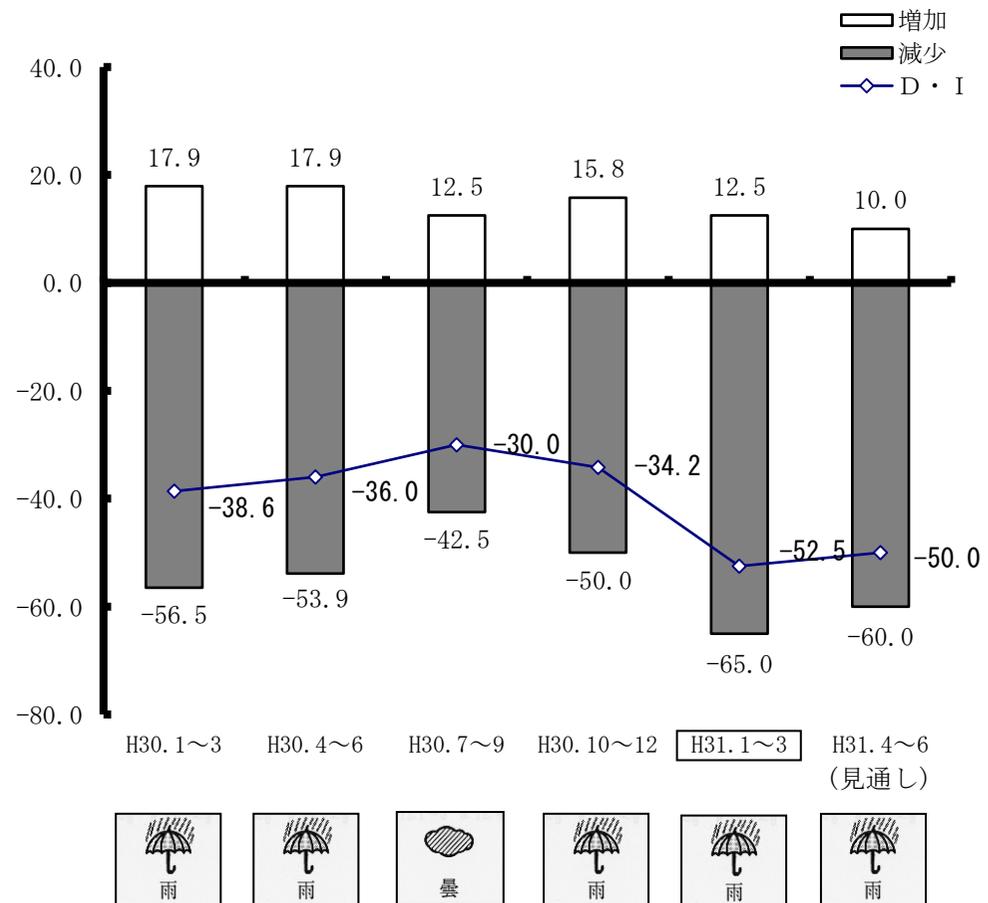


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少し、売上高減少企業の割合が増加したことにより、売上高D・Iは18.3ポイントの大幅な減少となり、△52.5まで悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は減少が見込まれるものの、売上高減少を予想する企業割合も減少するため、売上高D・Iは小幅に改善する見通しです。



# 小 売 業 の 推 移

## 採 算

<今 期>

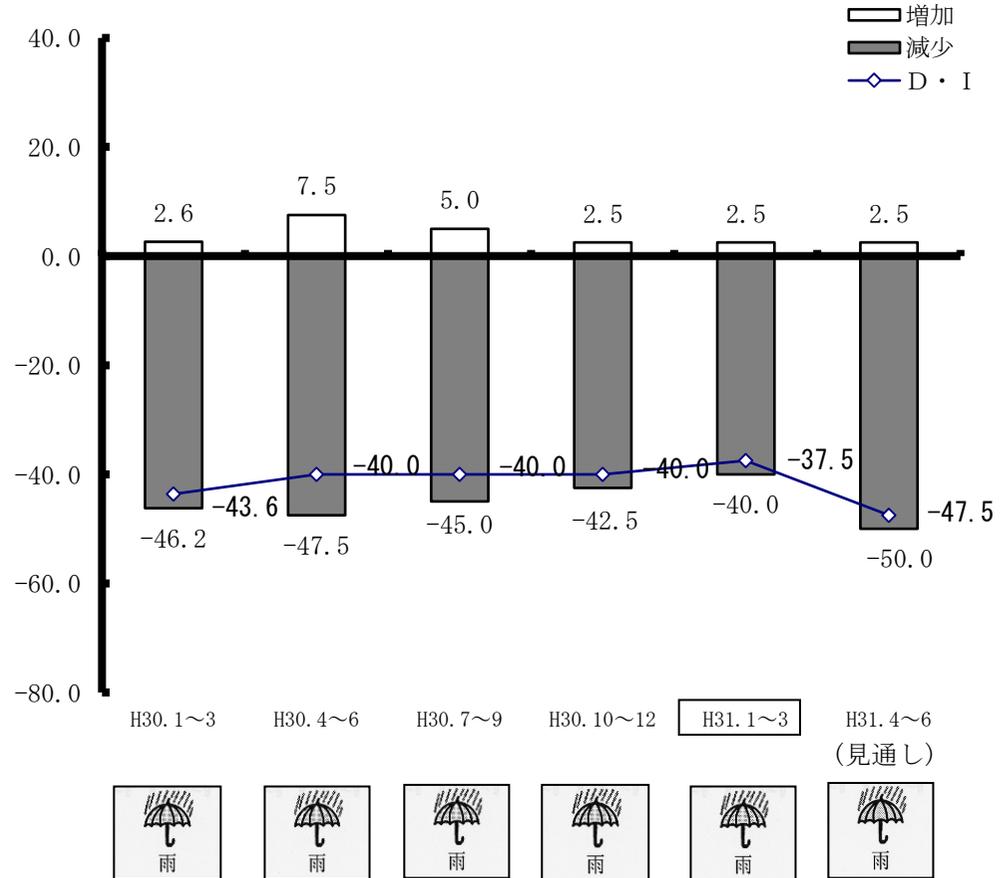


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業割合は横ばいでしたが、採算が悪化した企業の割合が減少したため、採算D・Iは小幅に上昇して△37.5まで改善しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は引き続き横ばいとなりますが、採算の悪化を予想する企業割合が増加するため、マイナス幅が拡大し、採算D・Iは△47.5まで悪化する見通しです。

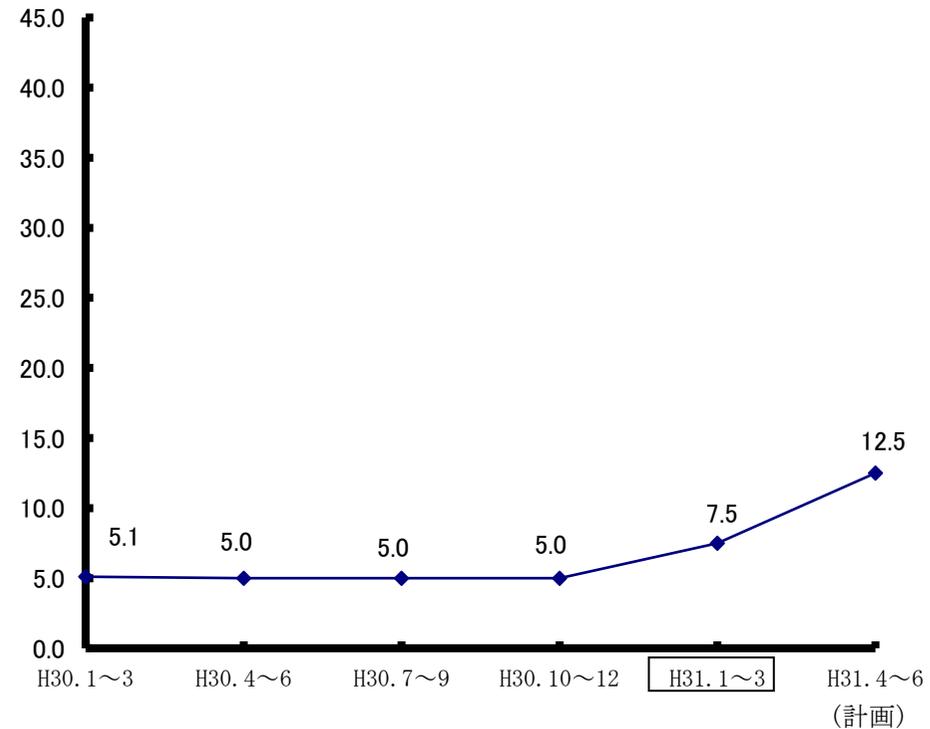


## 設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業数の割合は、7.5となり、2期ぶりの増加となりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合が引き続き増加し、12.5まで増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# 小売業の推移

## 経営上の問題点

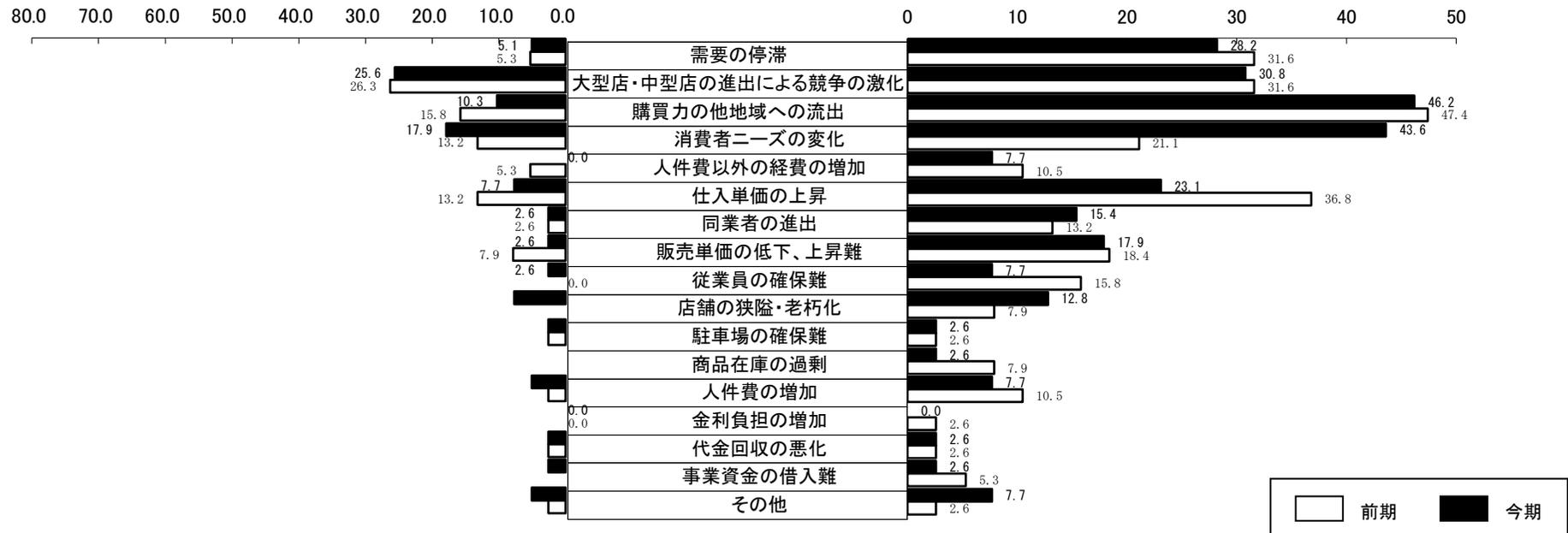
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

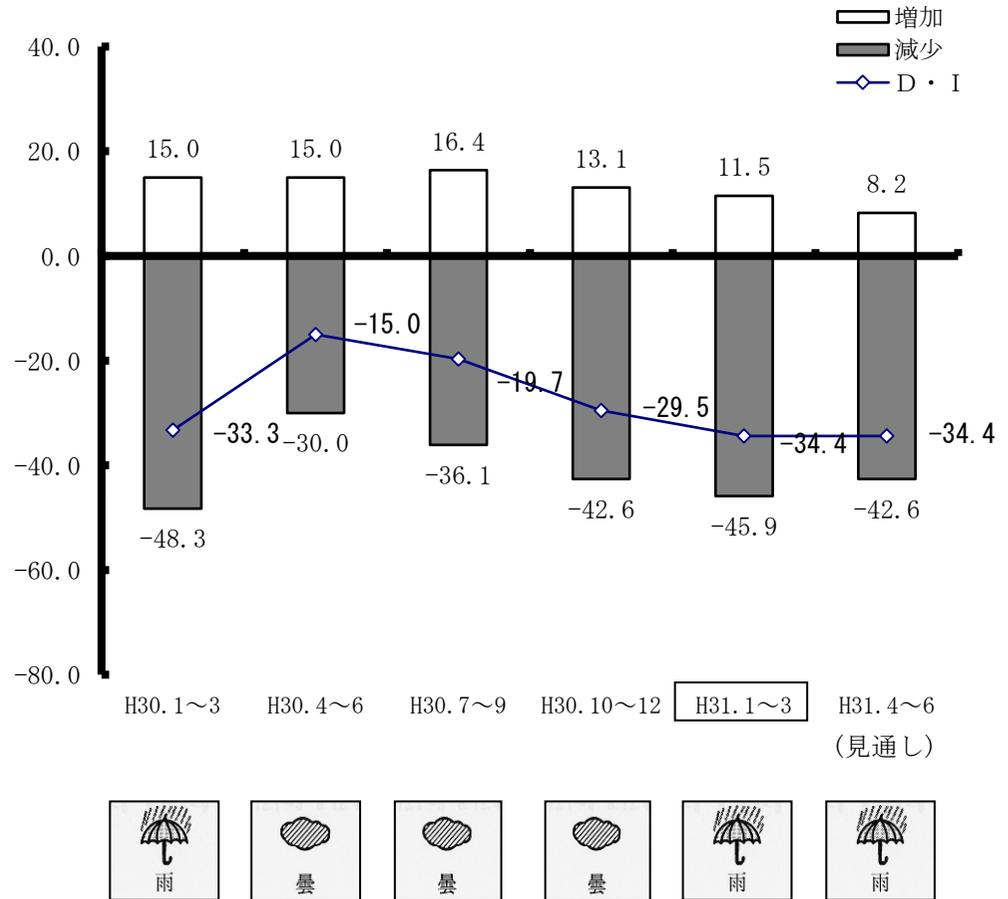


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が引き続き減少し、売上高減少企業の割合も3.3ポイント増加したため、売上高D・Iは4.9ポイント減少して3期連続の低下となり、マイナス幅が拡大して△34.4まで悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は減少するものの、売上高減少を予想する企業の割合も減少することが見込まれることから、売上高D・Iは横ばいとどまる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

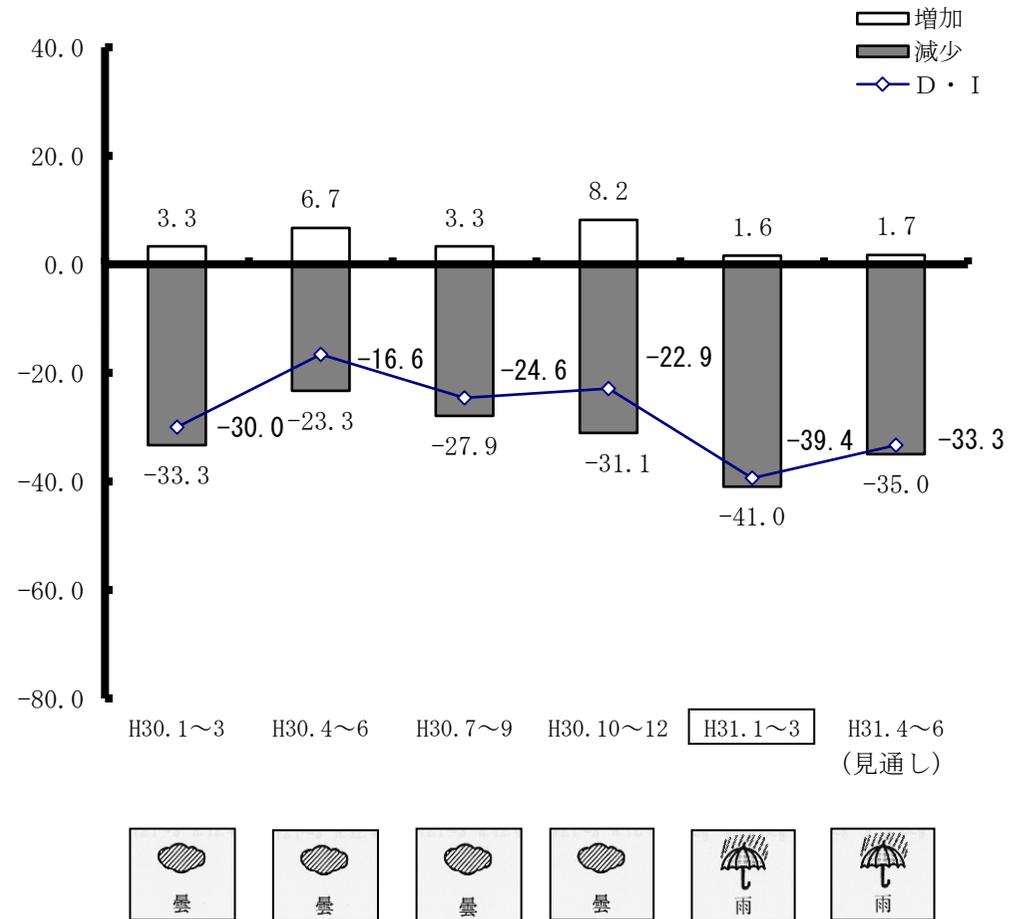


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が6.6ポイント減少し、採算が悪化した企業割合も9.9ポイント増加したことから、採算D・Iは16.5ポイントの大幅な低下となり、△39.4まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合はほぼ横ばいとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少する見込みで、採算D・Iはマイナス幅が縮小し、△33.3まで改善する見通しです。

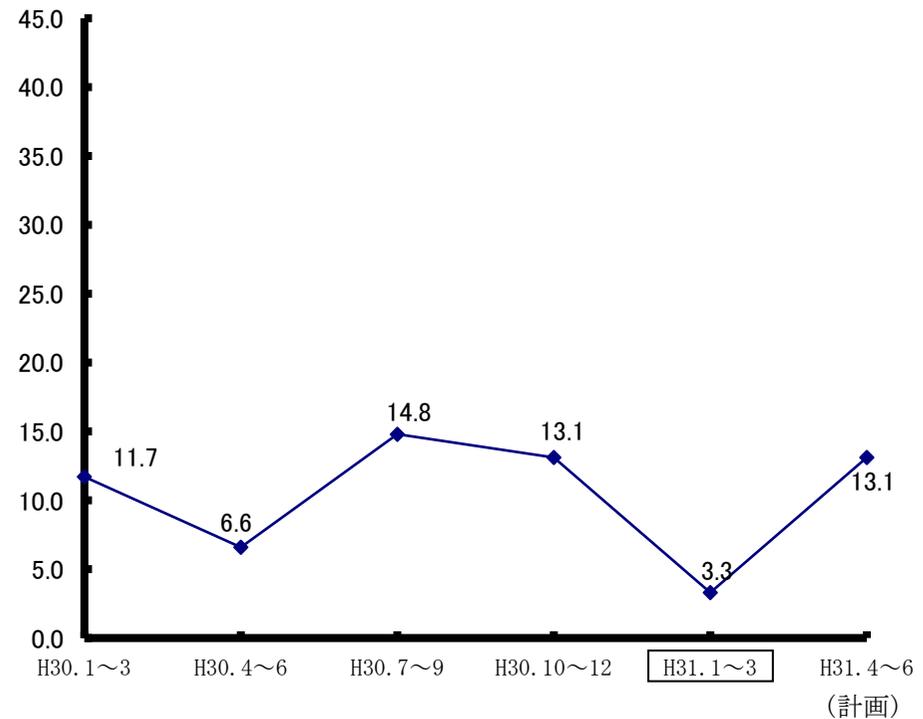


## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は9.8ポイント減少し、3.3まで低下しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は再び増加することが予想され、13.1まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

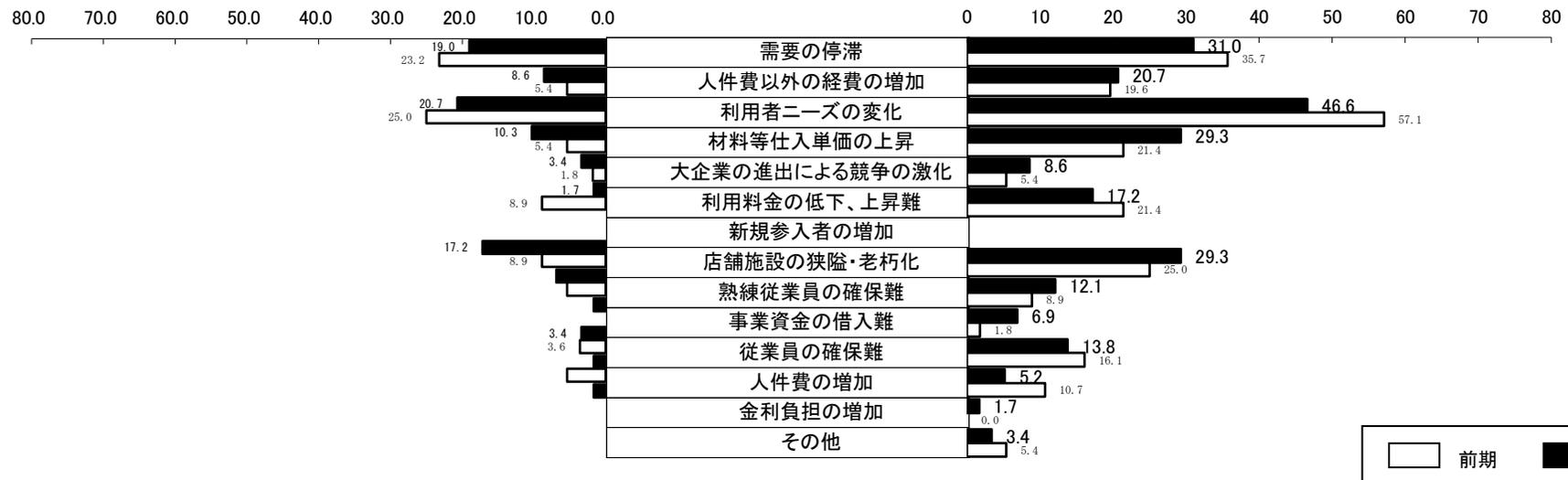
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

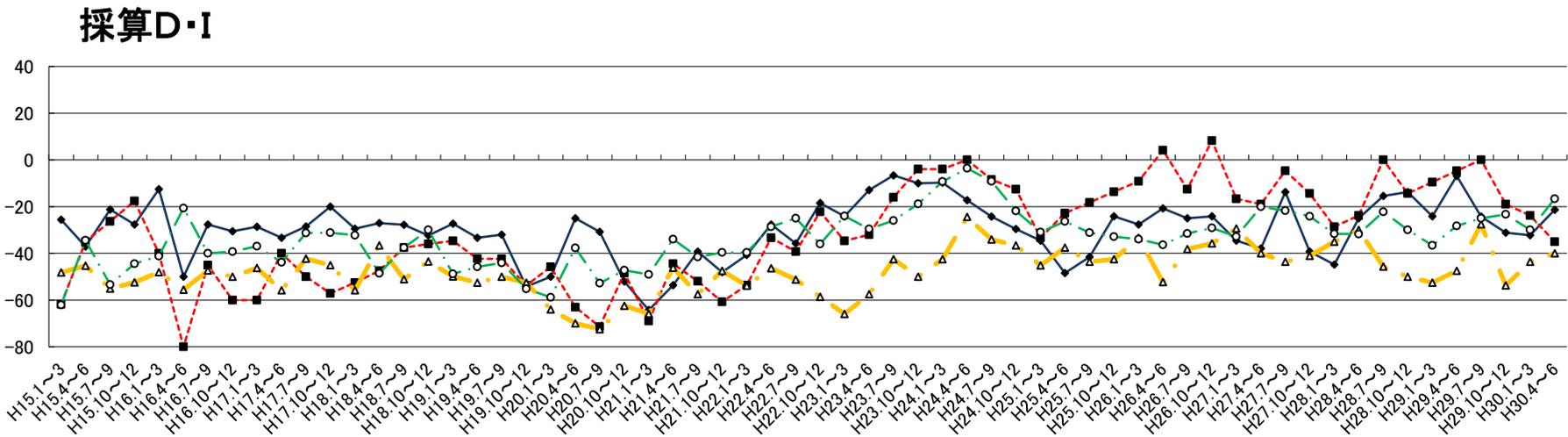
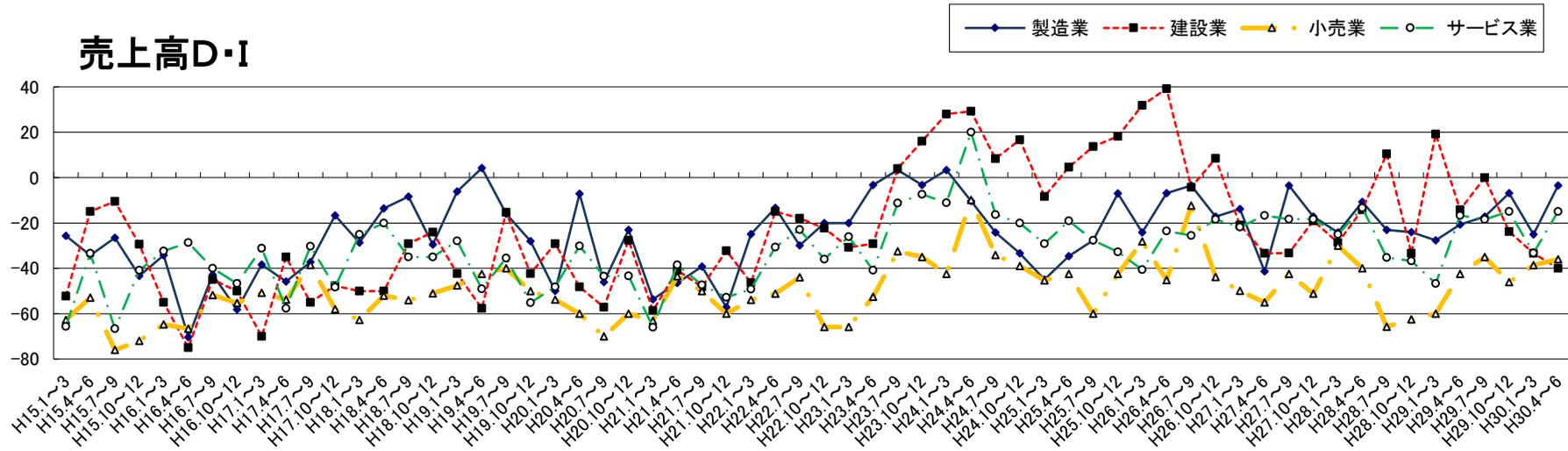
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、二戸市、雫石、岩手町、紫波町  
(商工会名) 前沢、金ヶ崎町、田野畑村、普代、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成31年1月～3月を対象とし、調査時点は平成31年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

| 業種         | 項目 | 対 象 企 業 数     | 回 答 企 業 数     | 回 答 率 ( % ) |
|------------|----|---------------|---------------|-------------|
| 製造業 (地域産業) |    | 29 ( 19.3 )   | 29 ( 19.3 )   | 100.0       |
| 建設業        |    | 20 ( 13.3 )   | 20 ( 13.3 )   | 100.0       |
| 小売業        |    | 40 ( 26.7 )   | 40 ( 26.7 )   | 100.0       |
| サービス業      |    | 61 ( 40.7 )   | 61 ( 40.7 )   | 100.0       |
|            |    | 150 ( 100.0 ) | 150 ( 100.0 ) | 100.0       |

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。